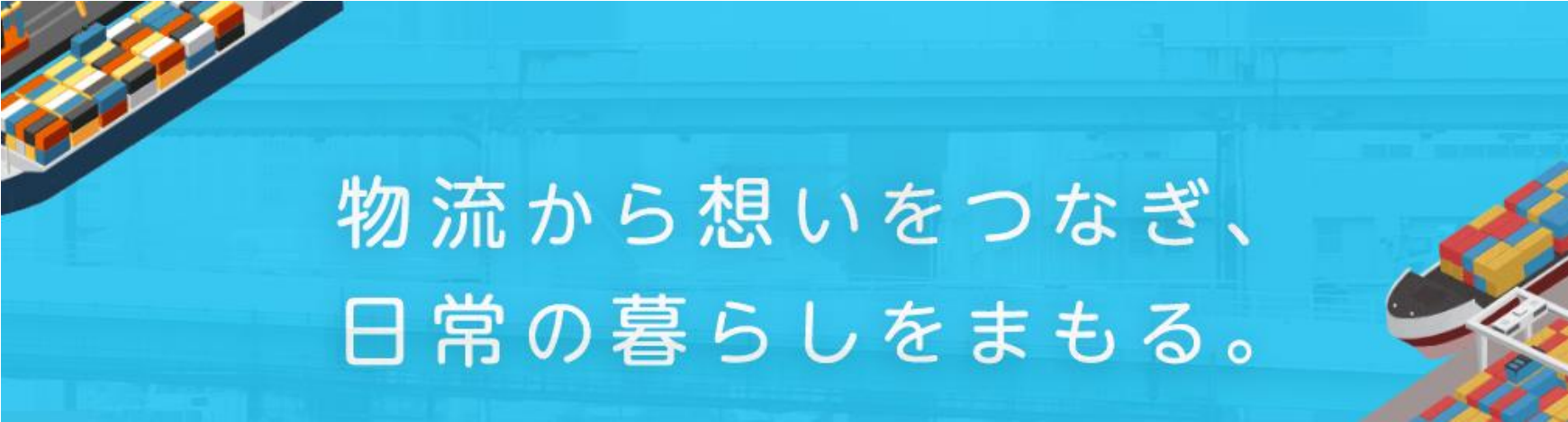


(証券コード:9322 東証スタンダード)



# 2022年3月期 決算説明資料



物流から想いをつなぎ、  
日常の暮らしをまもる。

2022年5月11日

川西倉庫株式会社

1

2022年3月期 連結決算の概要

2

2023年3月期 業績予想の概要

# 2022年3月期 連結決算の概要

---

## 2022年3月期決算実績

前期比で増収、営業利益、経常利益は増加、親会社株主に帰属する当期純利益は減少

☆ 貨物取扱高の回復

☆ 神戸港での港湾運送業務の回復

☆ 国際物流事業の増加



# 2022年3月期決算の概要①

(単位:百万円、%)

科 目	2021/3期 実績	2022/3期 実績	前期比		増減要因
	金額	金額	金額	増減率	
営 業 収 益	21,061	<b>23,618</b>	+ 2,557	+ 12.1%	国内物流事業では貨物の保管高は低調に推移するも、取扱高の回復、港湾運送業務の回復により増加。 国際物流事業では輸出入貨物の増加、新規荷主の獲得、海上運賃マーケットの上昇、海外子会社も好調に推移し増加。
営 業 利 益	468	<b>784</b>	+ 316	+ 67.5%	港湾運送業務、国際物流事業の増加、貨物保管高の減少による再保管費用の減少等の影響。
経 常 利 益	572	<b>862</b>	+ 290	+ 50.8%	営業利益の増加による。
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 利 益	542	<b>523</b>	△ 19	△ 3.5%	前期は特別利益に受取補償金等を計上していたことにより前期比減少。

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当期の期首から適用しており、前期に係る数値については、当該会計基準を遡って適用した後の数値となっております。



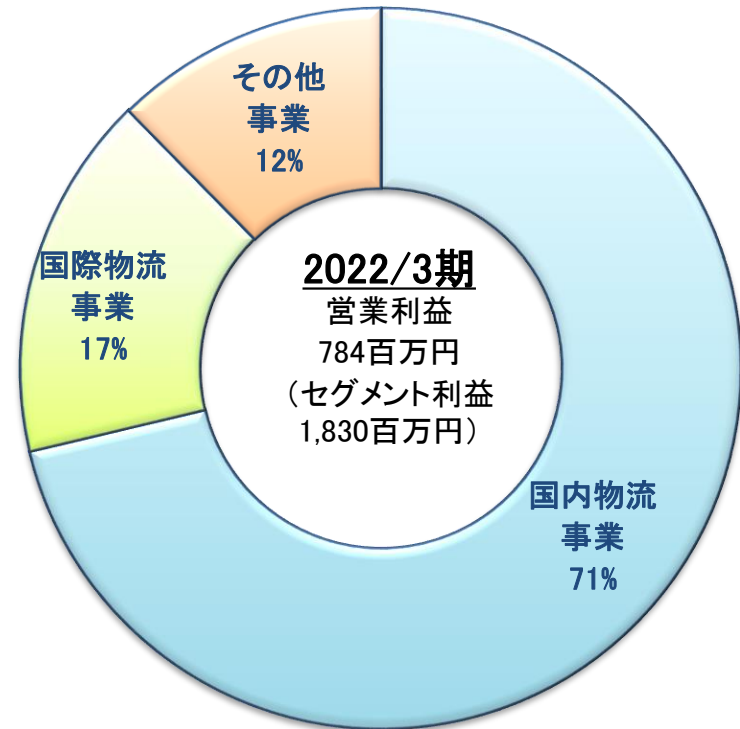
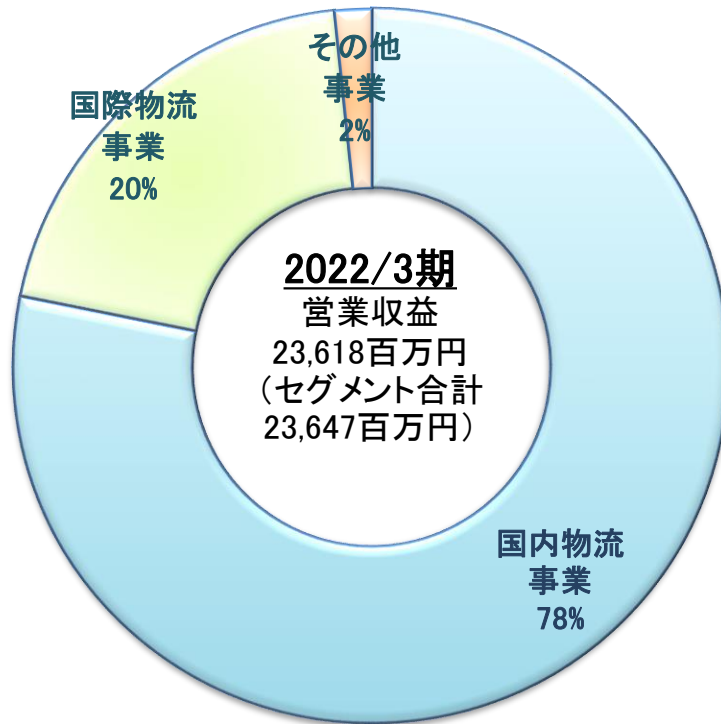
## 2022年3月期決算の概要②

(単位:百万円、%)

科 目	2021/3期 実績		2022/3期				前期比	公表比
			予想 (9/14 公表)		実績			
	金額	利益率	金額	利益率	金額	利益率		
営業収益	21,061	-	21,600	-	<b>23,618</b>	-	+ 12.1%	+ 9.4%
営業利益	468	2.2%	740	3.4%	<b>784</b>	3.3%	+ 67.5%	+ 6.0%
経常利益	572	2.7%	810	3.8%	<b>862</b>	3.7%	+ 50.8%	+ 6.5%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	542	2.6%	520	2.4%	<b>523</b>	2.2%	△ 3.5%	+ 0.6%



# セグメント別実績占率(2022/3期累計)



国内物流事業

倉庫業、港湾運送業、貨物運送取扱業、その他物流関連<通関業務、流通加工業務、物流関連施設の賃貸業務>

国際物流事業

国際運送取扱事業、倉庫業(海外)

その他事業

太陽光発電による売電事業、不動産賃貸事業、物流資材の販売



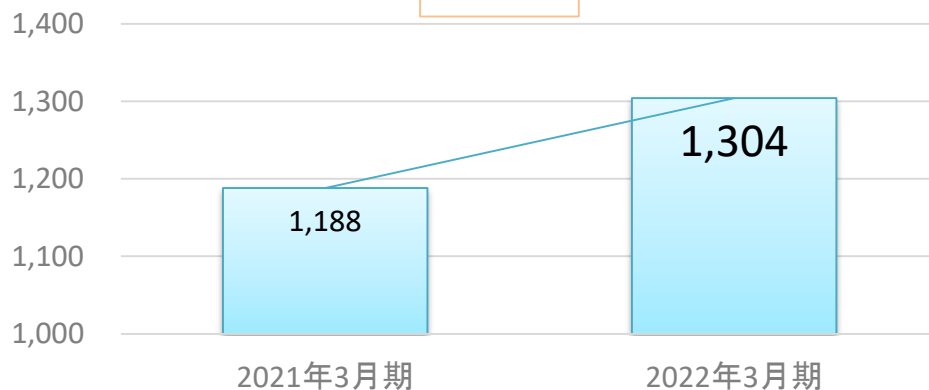
# セグメント別実績(国内物流事業)

## 営業収益

(単位:百万円)  
セグメント間相殺前



## 営業利益



- ☆ 貨物取扱高の回復
- ☆ 神戸港での港湾運送業務の回復
- ☆ 再保管費用等の減少による利益増



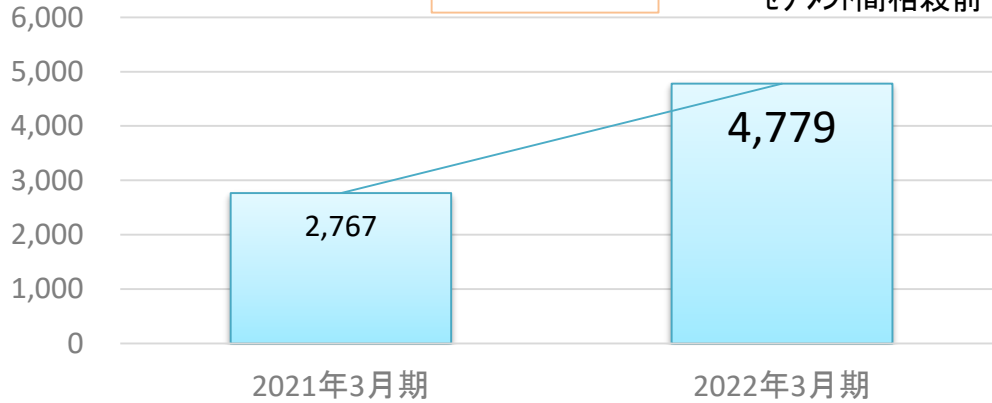


# セグメント別実績(国際物流事業)

## 営業収益

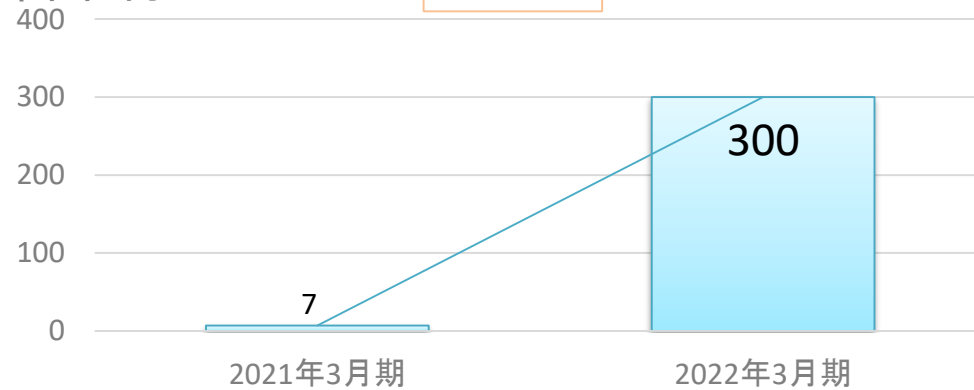
+ 2,011

(単位:百万円)  
セグメント間相殺前



## 営業利益

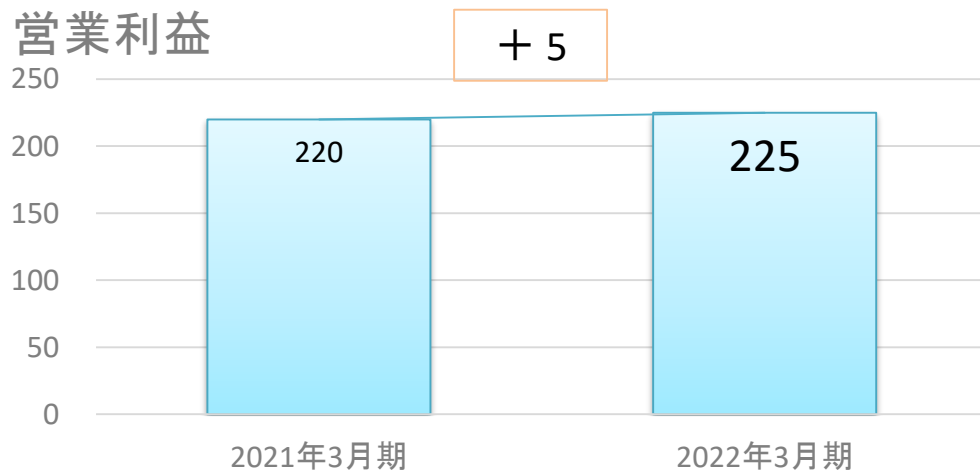
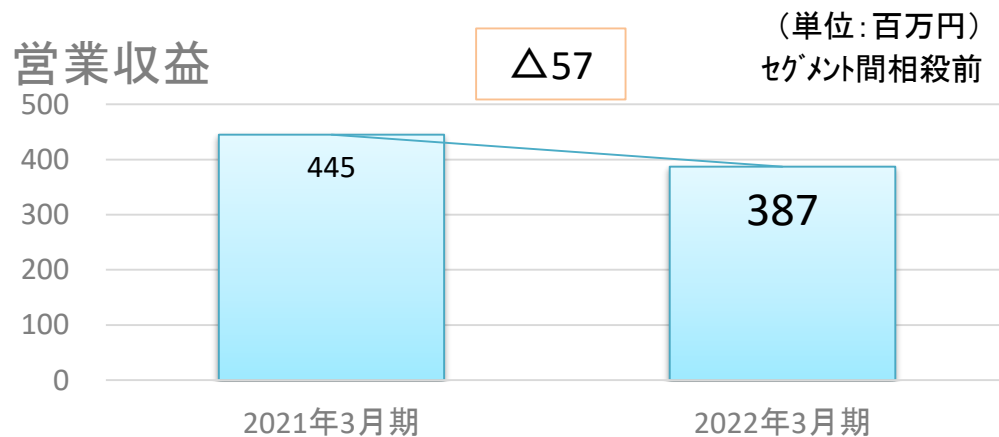
+ 292



- ☆ 輸出入貨物の増加
- ☆ 海上運賃マーケットの変動
- ☆ 海外子会社が好調に推移



# セグメント別実績(その他事業)

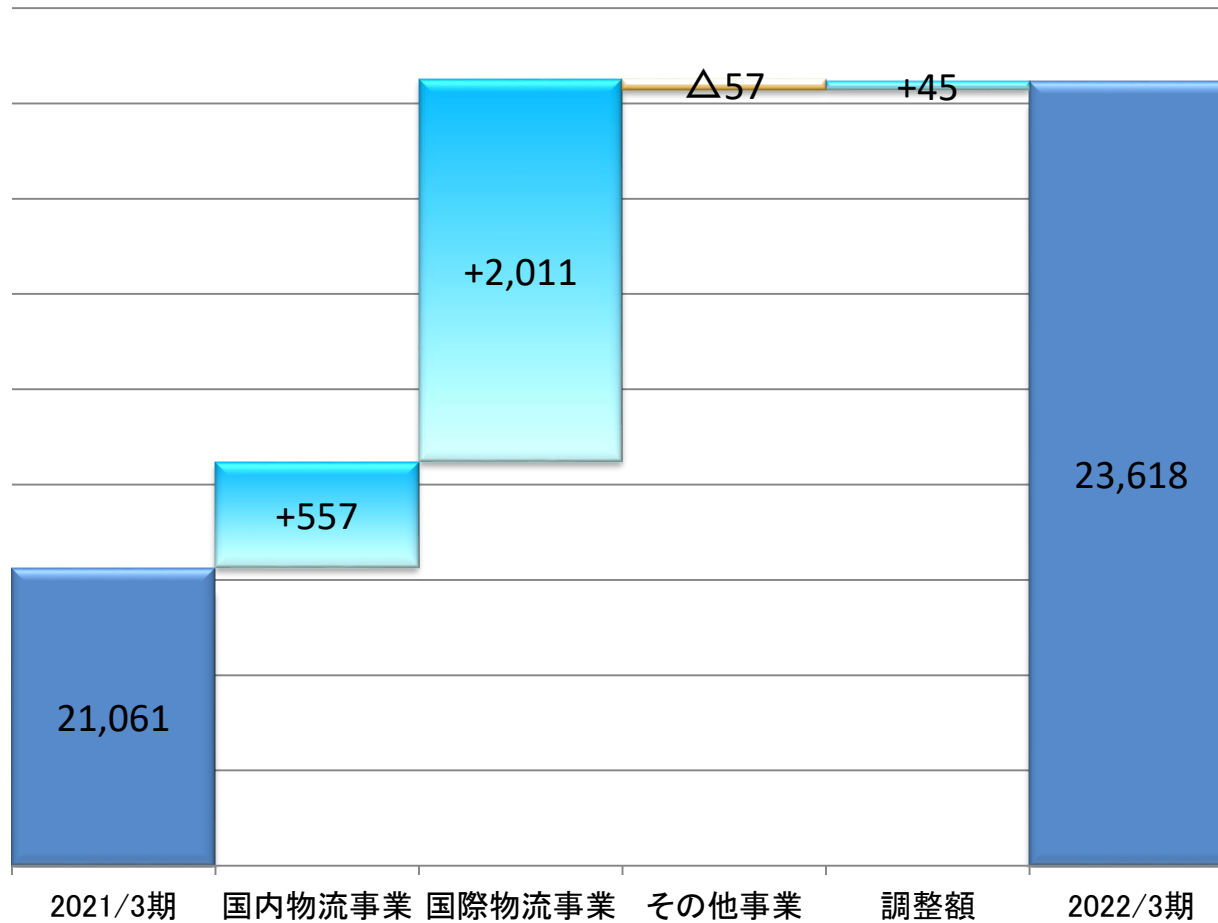


- ☆ 物流資材販売の減少
- ☆ 賃貸収入の増加



# 営業収益増減要因

(単位:百万円)



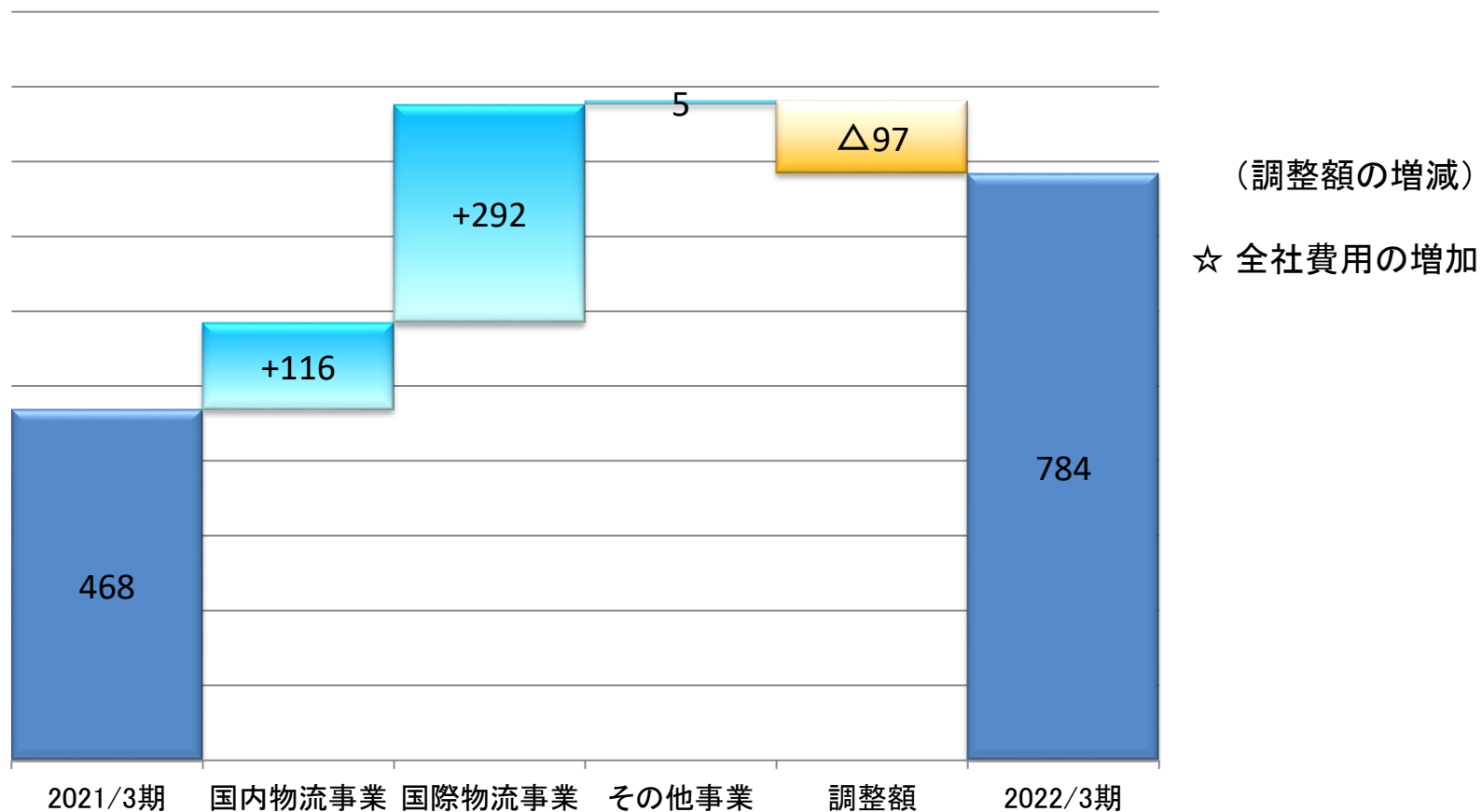
(調整額の増減)

☆ セグメント間取引の減少



# 営業利益増減要因

(単位:百万円)





# 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	2021年3月期 期末	2022年3月期 期末	前期末比	増減要因
<b>資 産 の 部</b>	33,623	<b>36,883</b>	+ 3,260	
うち現金及び預金	5,014	4,111	△ 903	【増加】長期借入金の新規借入れ 【減少】設備投資による支出
受取手形、営業未収入金 及び契約資産	3,150	<b>3,953</b>	+ 803	営業収益の増加
建物及び構築物	9,061	<b>11,556</b>	+ 2,495	新倉庫の完成による増加
機械装置及び運搬具	1,343	<b>1,786</b>	+ 442	新倉庫の完成による増加
<b>負 債 の 部</b>	14,371	<b>16,803</b>	+ 2,432	
長期借入金	8,026	<b>9,722</b>	+ 1,696	新規借入れによる増加
資産除去債務	—	<b>447</b>	+ 447	新倉庫にかかる除去債務の計上
<b>純 資 産 の 部</b>	19,252	<b>20,080</b>	+ 827	
利益剰余金	13,386	<b>13,801</b>	+ 414	当期利益の増加
<b>自己資本比率</b>	50.6%	<b>47.8%</b>		



# 連結損益計算書(営業原価、販売費及び一般管理費)

(単位:百万円)

	2021年3月期	2022年3月期	前期比	増減要因
営業原価	18,366	20,553	+ 2,186	
うち下払作業費	2,906	3,195	+ 289	貨物取扱高の回復、国際物流事業の増加
運送費	7,875	9,751	+ 1,876	国際物流事業の増加、海上運賃マーケットの上昇
再保管料	1,098	1,002	△ 96	倉庫保管高の減少
施設使用料	790	839	+ 49	新倉庫開設による増加
販管費	2,226	2,281	+ 54	



# 連結損益計算書(営業外損益、特別損益)

(単位:百万円)

	2021年3月期	2022年3月期	前期比	増減要因
営業外収益	166	134	△ 31	
うち受取利息	86	53	△ 32	海外子会社での利息収入減少
営業外費用	62	56	△ 5	
特別利益	772	13	△ 758	
うち受取補償金	705	—	△ 705	前期は、営業所譲渡等に伴う補償金を計上
特別損失	505	23	△ 482	
うち固定資産除却損	65	0	△ 64	前期は、譲渡営業所等にかかる除却損を計上
営業所閉鎖損失	200	—	△ 200	前期は、当社の一部営業所閉鎖に伴う損失を計上
システム開発中止に伴う損失	108	—	△ 108	前期は、基幹システムの開発中止に伴う損失を計上
減損損失	43	—	△ 43	前期は、当社の一部営業所に減損損失を計上

(単位:百万円)

	2022年3月期	主な要因
営業活動による キャッシュ・フロー	+ 1,320	税金等調整前当期純利益や減価償却による資金留保、利息及び配当金の受取りにより増加
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 2,134	新倉庫の建設費用の支出等により減少
財務活動による キャッシュ・フロー	+ 1,214	長期借入金の返済があったものの、新設倉庫建設のための長期借入金の新規借入等により増加
期中増減額	+ 500	—
期末残高	3,975	—



## 2023年3月期 業績予想の概要

---



## 2023年3月期通期業績予想

前期比で増収、減益を予想

☆新倉庫稼働による貨物取扱高の増加

☆国際物流事業における取扱高の減少

☆新倉庫における不動産取得税、減価償却  
負担の増加



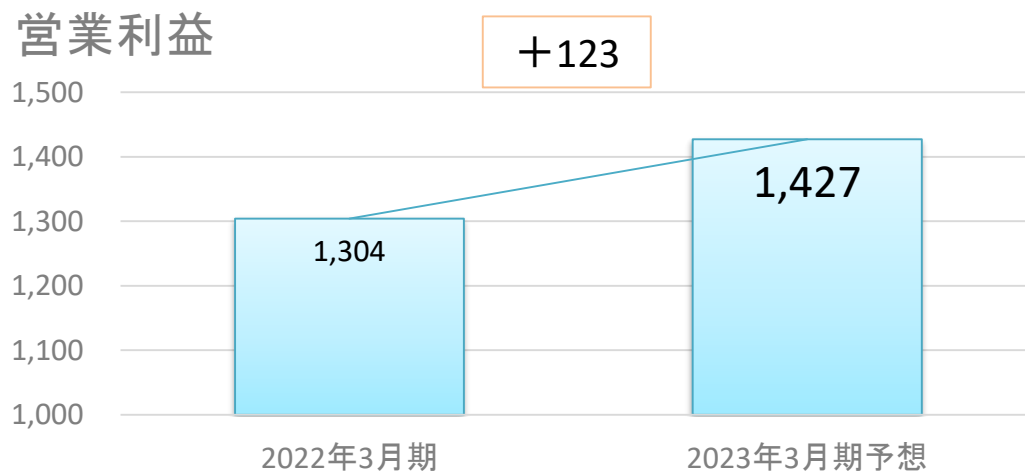
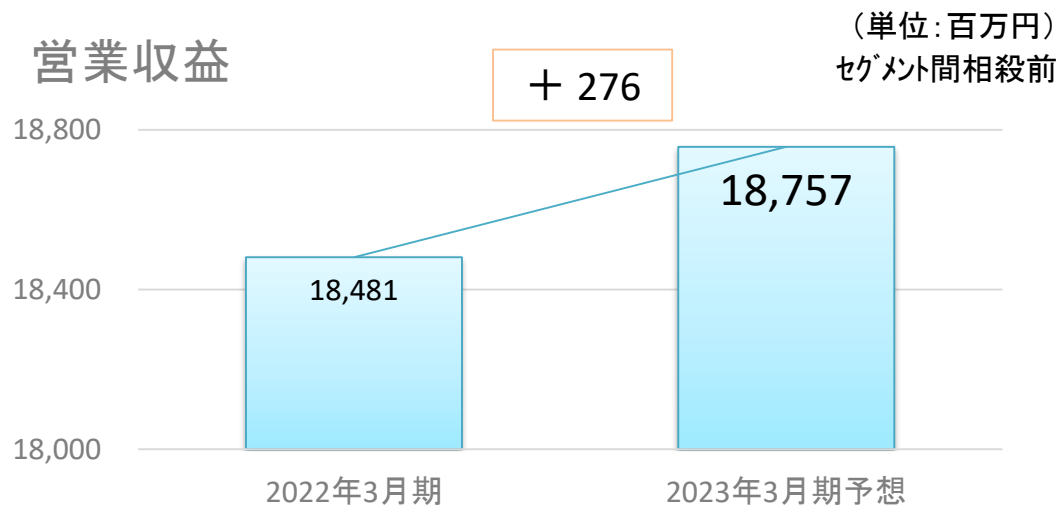
# 2023年3月期業績予想の概要

(単位:百万円)

科目	2022/3期 実績	2023/3期 予想	増減		増減要因
営業収益	23,618	<b>23,750</b>	+ 131	+ 0.6%	新倉庫稼働による貨物取扱高の増加による収入の増加、国際物流事業における取扱高の減少を予想。全体では増加見込み。
営業利益	784	<b>700</b>	△ 84	△ 10.8%	貨物取扱高の増加を見込むも、国際物流事業の減少、新倉庫にかかる不動産取得税の発生、減価償却負担の増加により営業利益の減少を見込む。
経常利益	862	<b>720</b>	△ 141	△ 16.5%	営業利益の減少、海外子会社における受取利息の減少の影響。
親会社株主に 帰属する 当期純利益	523	<b>475</b>	△ 48	△ 9.2%	経常利益の減少、特別損益の減少の影響。



# セグメント別予想(国内物流事業)



☆新倉庫稼働による貨物取扱高の増加  
☆パレット等の荷役用具費用の減少



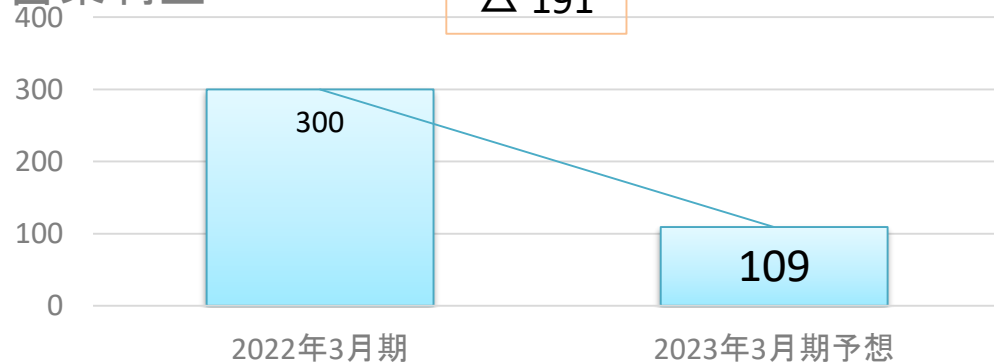
# セグメント別予想(国際物流事業)

(単位:百万円)  
セグメント間相殺前

## 営業収益



## 営業利益

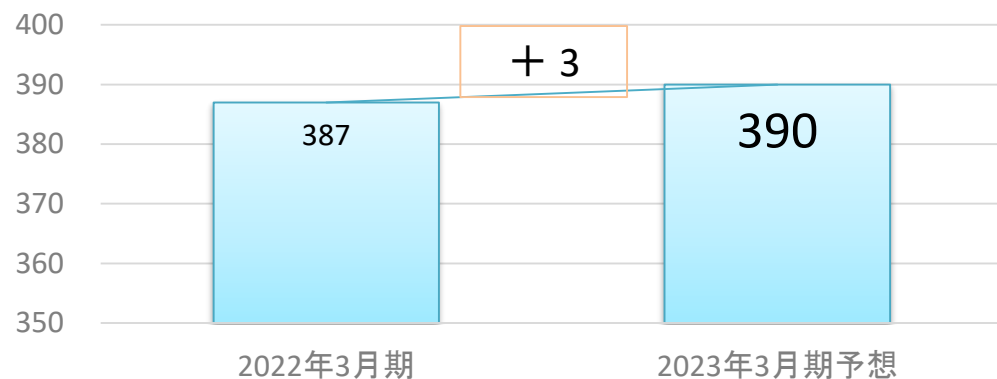


☆取扱高の減少  
☆海外での新倉庫稼働による償却負担の増加

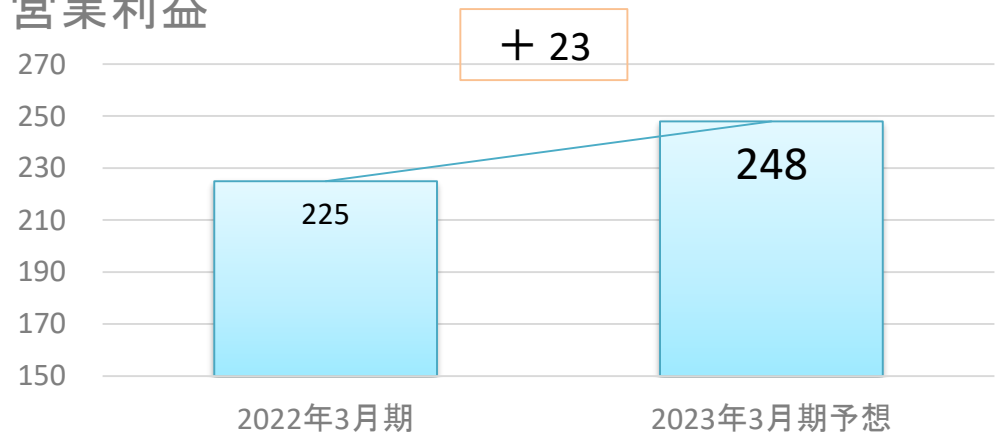


# セグメント別予想(その他事業)

営業収益 (単位:百万円) セグメント間相殺前



## 営業利益

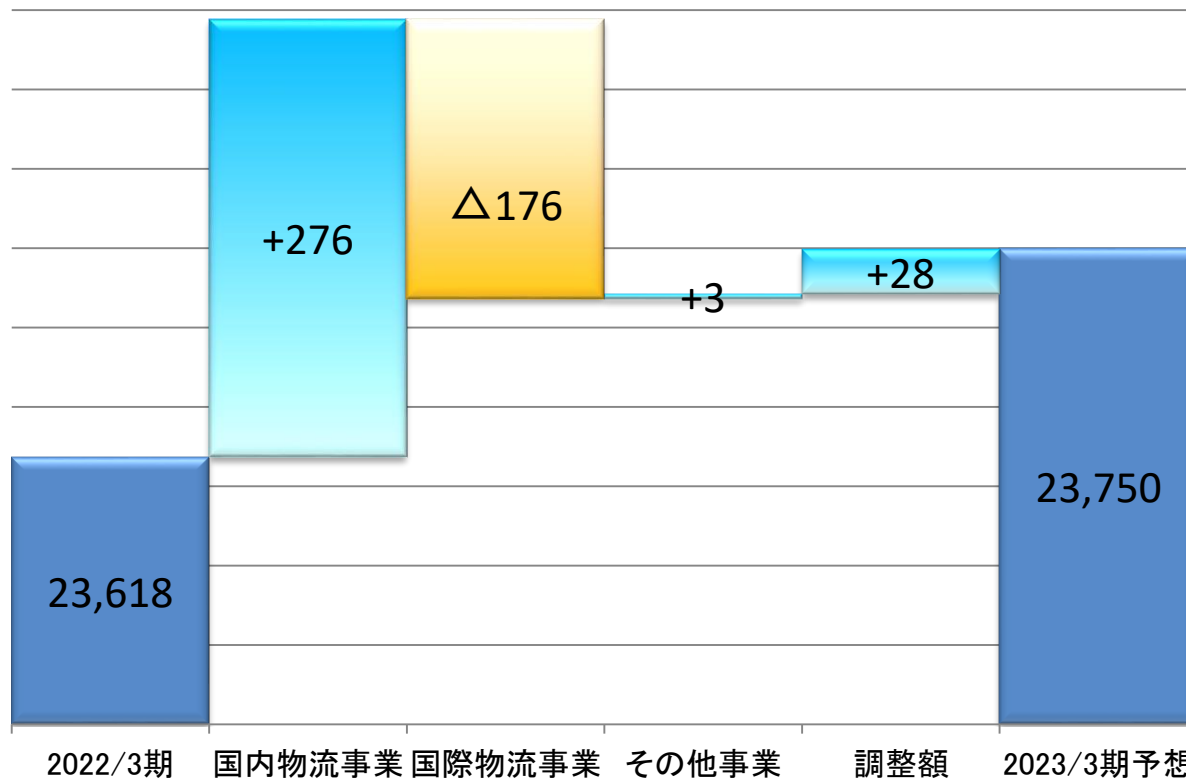


☆賃貸収入の増加、物流資材販売の減少  
☆賃貸収入の増加による利益増



# 2023/3期営業収益増減要因

(単位:百万円)



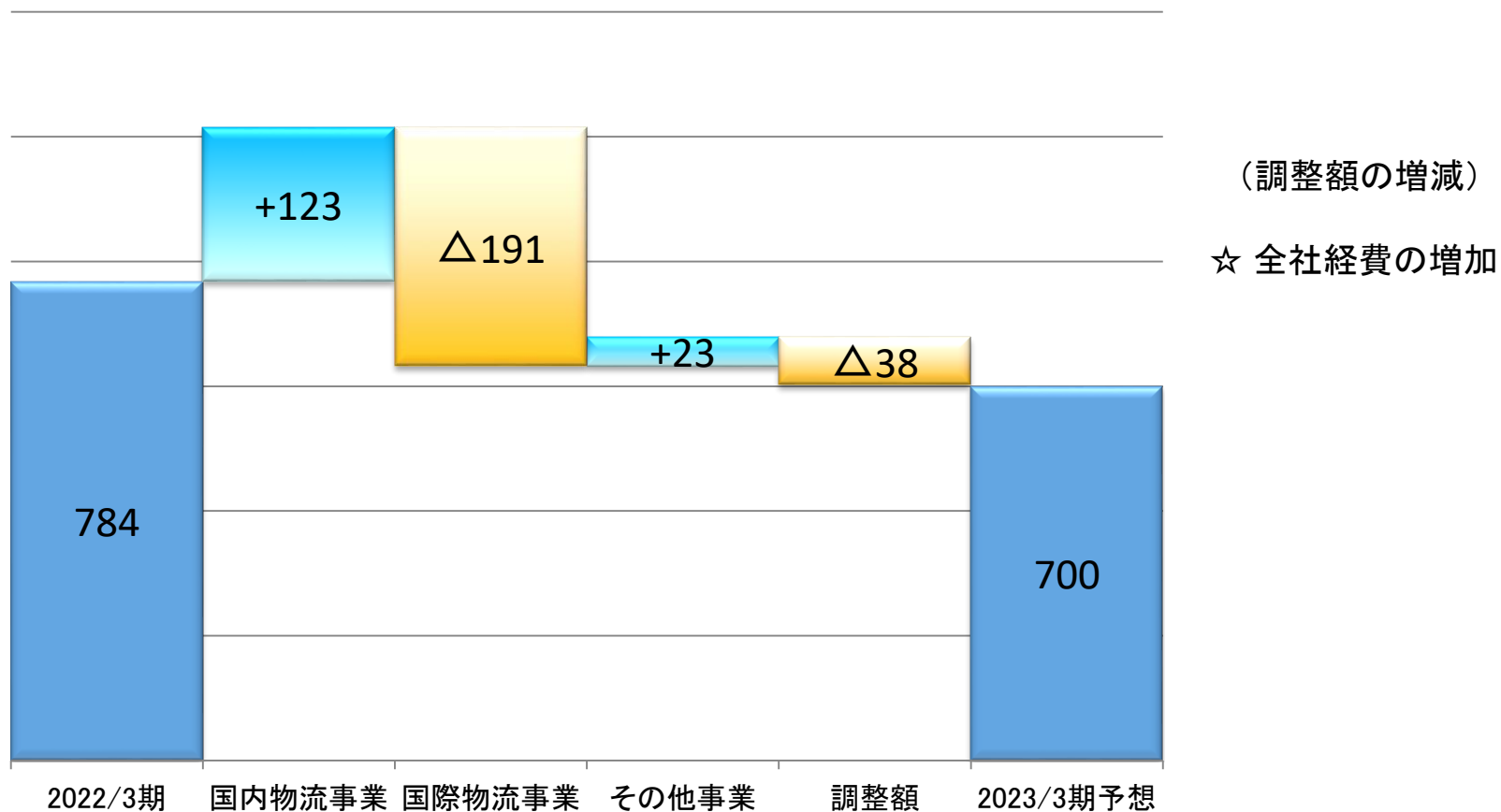
(調整額の増減)

☆ セグメント間取引の減少



# 2023/3期営業利益増減要因

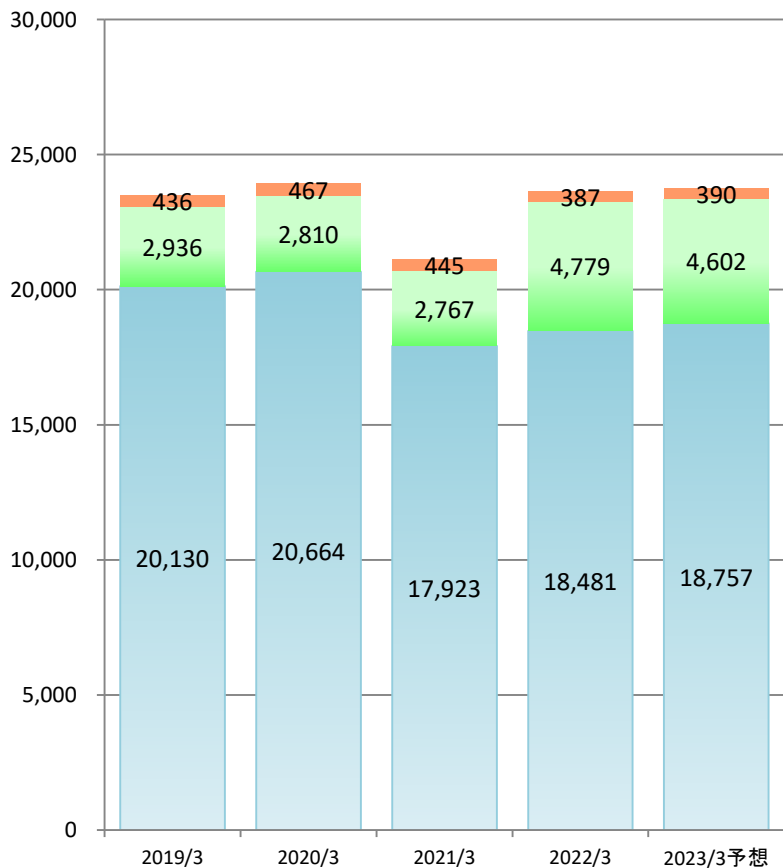
(単位:百万円)



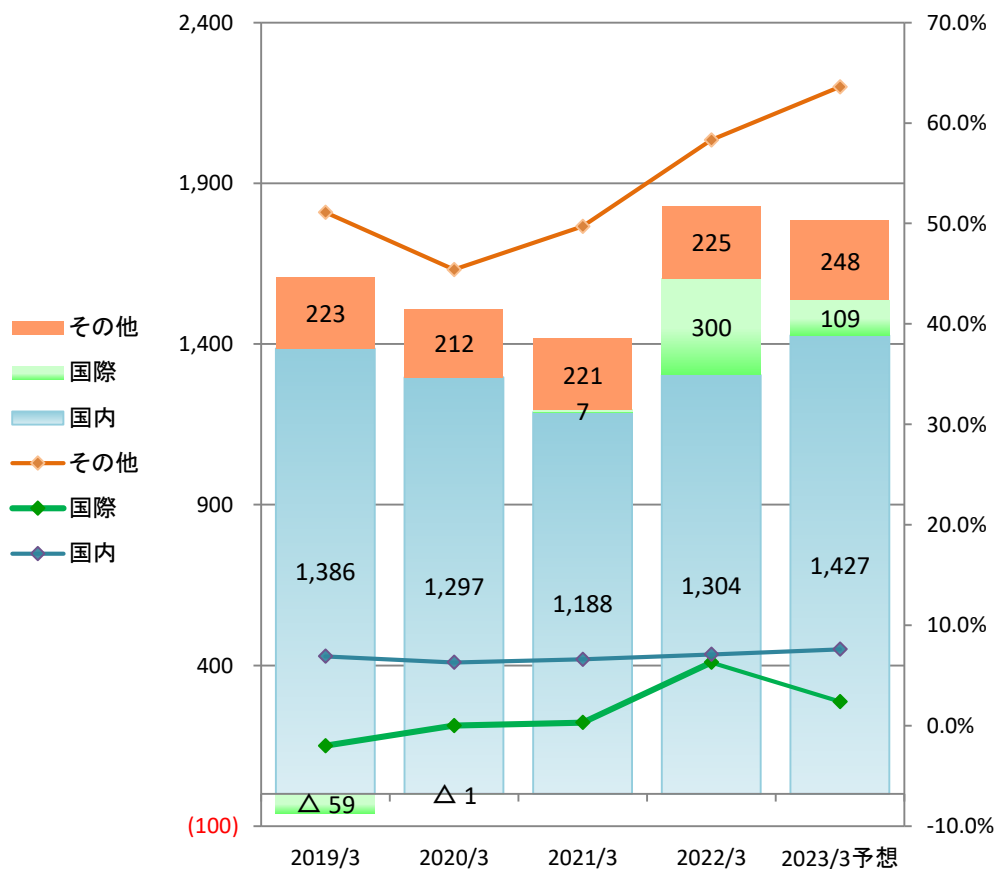


(単位: 百万円、%)  
セグメント間相殺前

## 売上高



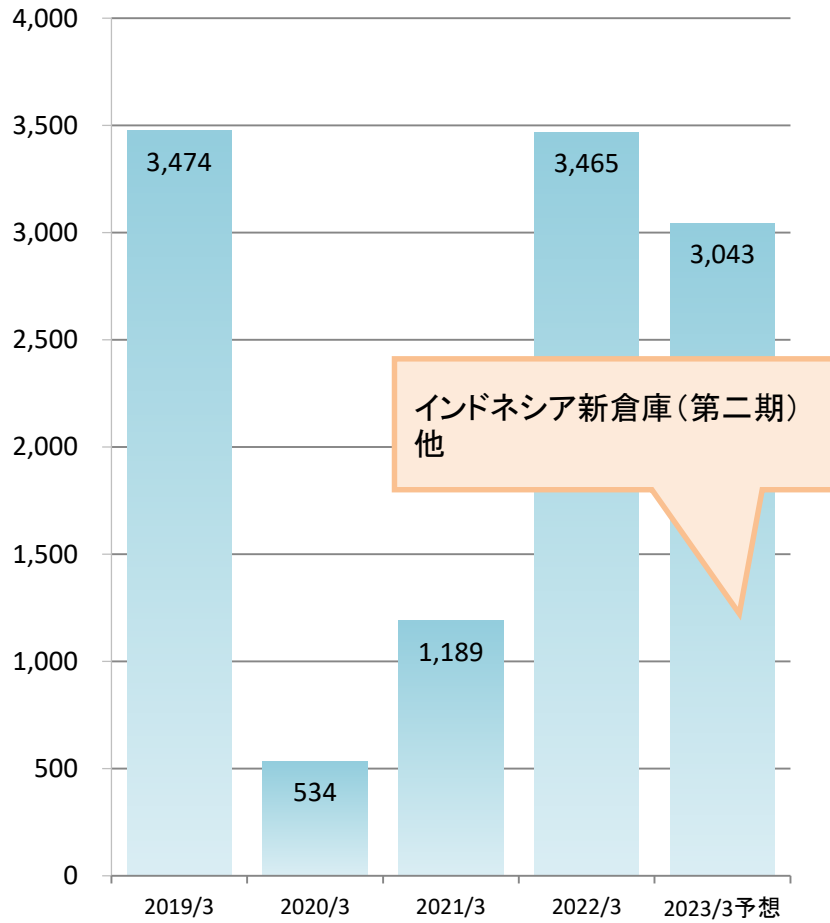
## セグメント利益・利益率





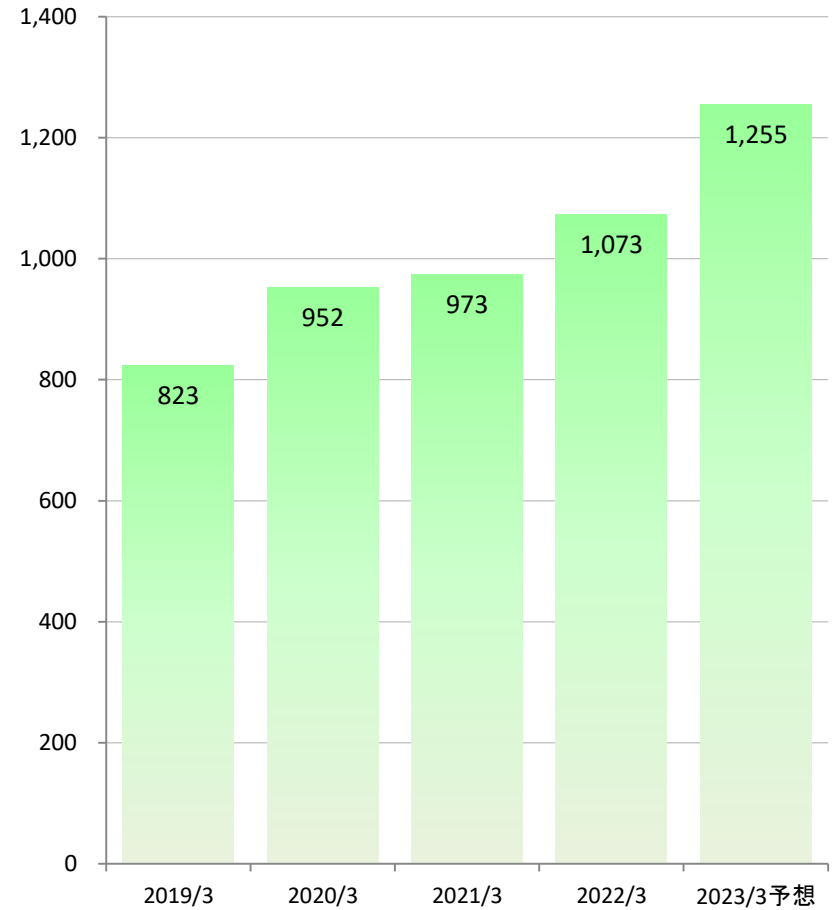
## 設備投資額

(単位:百万円)



## 減価償却費

(単位:百万円)



2022年3月期:34億円(完成ベース)

【主な投資内容】

- ・京浜支店ベイブリッジ営業所新倉庫建設  
29億円(2021年11月竣工)
- ・危険品倉庫建設
- ・定温機更新 他

2023年3月期計画:30億円(完成ベース)

【主な投資内容】

- ・インドネシア新倉庫建設(第二期)  
22億円(2022年秋竣工予定)
- ・定温機、冷凍機更新 他

## 配当実績推移

	2018年度 実績	2019年度 実績	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 予定
中間配当	6.00円	6.00円	※9.00円	※8.00円	7.00円
期末配当	6.00円	6.00円	6.00円	6.00円	7.00円
年間	12.00円	12.00円	15.00円	14.00円	14.00円
配当性向	27.8%	37.4%	21.1%	20.4%	22.5%

※特別配当含む(2020年度3.00円、2021年度2.00円)

## 株主優待

保有株式数	継続保有期間	基準日	優待内容
100株以上	3年未満	9月末日、3月末日	(現状)クオカード1,000円分 (変更後)クオカード500円分
100株以上	3年以上～5年未満	9月末日、3月末日	クオカード1,500円分
100株以上	5年以上	9月末日、3月末日	(新設)クオカード2,000円分

※上記の株主優待制度については内容を一部変更しており、変更後の制度については2022年9月末時点の株主名簿に記載または記録された1単元(100株)以上保有の株主様より適用いたします。

対象となる株主様

毎年9月末日および3月末日現在の株主名簿に記載または記録された1単元(100株)以上の株式を保有されている株主様(贈呈時期:毎年12月中旬にお送りする「中間報告書」および6月下旬にお送りする「報告書」とともに発送を予定しております。)

本資料中の業績予想、見通しおよび事業計画についての記述は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、記載された将来の業績を保証するものではありません。